

平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	地理学概論B(Introduction of Geography B)		授業コード	K004651
担当教員名	土居 晴洋		科目ナンバリングコード	K10704
配当学年	2	開講期	後期	
必修・選択区分	必修(地理学概論A・Bどちらかを必ず取得)	単位数	2	
履修上の注意または履修条件	「地理学概論A」を合わせて履修することが望ましい。			
受講心得	講義において解説された事項について、普段の生活の中で確認するように努力する。また、適宜、課題を課すので、期限内に提出する。			
教科書	なし			
参考文献及び指定図書	適宜紹介する。			
関連科目	地理学概論A, 地誌学			

授業の目的	地理情報システムをはじめとする、さまざまな情報処理の技術は、現代社会においてさまざまな場面で利用されており、人文地理学のみならず、学校教育においても、その積極的な利用が図られるべきである。しかし、安易な利用や誤った利用は、逆効果を招きかねず、その利用は注意深くなされないといけない。本講義では、地理情報システムなどの概要を理解するとともに、適切に利用するための技術を身につけ、さらに学校教育における応用の可能性を探る。□
授業の概要	学校教育の現場では、既存の教科書や資料集などのみ依存することなく、教師自らが新たに情報を取得して、それを適切に加工し、提示することが必要である。統計データのグラフ化をはじめ、日常的に使用しているデジタルカメラ、さらに現代では地理情報システムなど、学校教育の現場の教師をサポートする様々なノウハウが蓄積されている。本講義では、これらの概要を理解するとともに、自らがそれらの技能を身につけるために、具体的な作業を行っていく。□

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：現代社会における地理情報の利用 学校教育の現場ばかりでなく、さまざまな経済活動の遂行において、地理情報の重要性はますます高まっている。身近な事例から国際的な舞台まで、地理情報がどのように活用されているのかを概観する。	配付資料 身の回りの地理情報の確認
第2週：地理情報とは何か 日常的に接する情報の多くが地理情報として捉えられる。地理情報とそれ以外の情報の違い、特質、利用可能性について考察する。	配付資料 身の回りの地理情報の確認
第3週：地理情報の種類 インターネットや図書や新聞等のメディアから、自ら景観を観察することまで、様々な地理情報の種類と特徴について整理する。	配付資料 身の回りの地理情報の確認
第4週：地理情報の所在と入手 国家の存立基盤として整備される地理情報について概観し、国勢調査や経済統計などの所在と入手方法について整理する。	配付資料 統計データの入手
第5週：地理情報の加工1 国勢調査データをもとにして、地図化やグラフ化など、意味のある情報をそこから得るための方法論について概観する。	配付資料 統計データの加工
第6週：地理情報の加工2	

国勢調査データをもとにして、表化、グラフ化などの具体的な作業を行う。また、作業結果からどのような情報を読み取るべきかについて考える。	配付資料 統計データの加工と分析
第7週：主題図の作成1 国勢調査データをもとにして、地図化を行い、意味のある情報をそこから得るための方法論について概観する。	配付資料 統計データの地図化
第8週：主題図の作成2 国勢調査データをもとにして、地図化の具体的な作業を行う。また、作業結果からどのような情報を読み取るべきかについて考える。	配付資料 統計データの地図化と分析
第9週：写真と地理情報1 地理情報の宝庫とも言える写真について考える。写真は誰が何のために、何を被写体として撮影するのかを考えることで、写真と他の画像情報との違い、特徴について理解する。	配付資料 自らが撮影した写真の分析
第10週：写真と地理情報2 様々な種類の写真、特に風景写真を事例として、写し込まれた地理情報を読み解く方法について考察する。	配付資料 風景写真の撮影
第11週：写真と地理情報3 自ら撮影した風景写真をもとにして、写し込まれた地理情報を読み解く。	配付資料 風景写真の撮影と分析
第12週：地図とは何か 古来、普遍的な地理情報である地図について考える。地形図の定義、種類、特徴などを整理することで、日常生活における地形図の重要性を確認する。	配付資料 身の回りにおける地形図の確認
第13週：地形図とその入手 地形図の作成過程と所在、入手方法を理解する。	配付資料 地形図の入手
第14週：地形図における地理情報 地形図に盛り込まれる地理情報について整理するとともに、自らが必要な地理情報を読み解くための方法論を概説する。	配付資料 地形図の分析
第15週：旧版地形図の利用 地域の歴史や時間的な変化を知るための方法として、旧版地形図を紹介する。その作成過程や入手方法、また旧版地形図を利用することで可能となる分析方法を紹介する。	配付資料 旧版地形図の分析
第16週：期末試験	
授業の運営方法	(1)授業の形式 「講義形式」
	(2)複数担当の場合の方式
	(3)アクティブ・ラーニング
地域志向科目	カテゴリー Ⅲ：地域における課題解決に必要な知識を修得する科目
備考	

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	日常的な事象を認識し、地理学的な関心を持つことができる。
【知識・理解】	地理学的な分析手法の基礎的知識を習得している。
【技能・表現・コミュニケーション】	地理学的な分析手法を理解し、利用することができる。
【思考・判断・創造】	地理学的な分析手法を用いて日常的な事象を考察することができる。

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。			5点	
【知識・理解】 ※「専門能力(知識の獲得)」を含む。	20点		5点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力(知識の活用)」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。	20点	20点	5点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。	20点		5点	
(「人間力」について) ※以上の観点到、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	丁寧な作業の実施。技能の習得。
発表・その他 (無形成果)	積極的な授業への参加。